

令和6年度 第3回小樽市子ども・子育て会議 会議録

日 時：令和7年2月20日（木）午後6時00分～午後6時30分

場 所：小樽市役所別館3階第二委員会室

出席者：片桐会長、松本委員、桑原委員、小笠原委員、厚谷委員、渡邊委員、一鐵委員、
木村委員、川原委員（欠席者：石川委員、林委員、伏間委員、法本委員、松並委員）

事務局：こども未来部長、こども未来部次長、こども未来部主幹、こども福祉課長、こども家庭課長、
放課後児童課長、子育て支援課長、子育て支援課教育保育係長、主査、係員

<1 議事>

(1) 第三期小樽市子ども・子育て支援事業計画策定について

●事務局より

資料1に基づいて、第三期小樽市子ども・子育て支援事業計画の策定について説明。令和6年12月20日から今年の令和7年1月20日まで実施したパブリックコメントへの回答案（資料1-1）、前回会議後に子ども・子育て会議委員の方からいただいた意見について（資料1-2）、パブリックコメントの実施後に開催した庁内会議で意見のあった文言等の修正（資料1-3）について説明した。

いずれも計画案の修正等については大きな修正はなく、資料1-3にあるような細かい文言の修正のみとしている。

○委員からの意見等

【産後ケア事業について】

- ・お子さんが産まれた後に、産後ケア事業などの厚い支援があることが小樽市の人口を伸ばすものではないかと思う、第三期（小樽市子ども・子育て支援事業計画期間）には温かい支援をお願いしたいと思います。
- ・小樽市で助産師個人が開業している産後ケアは何件あるのか？また、費用は自費なのか？
⇒産後ケア事業については拡充も視野に入れて事業を検討している。そこが進んでいけば第三期の間見直し等で記載が変わってくる可能性もあり、随時改善していければと考えている。助産師個人が開業している産後ケアについては現在2件把握しており、自費となる。

【資料1-1について】

- ・市民の方からの意見について、「小樽市に事業者として参入しにくい」という読み方ができるが、回答の方は既にいる事業者に対しての支援のことが書かれている。参入する前の事業者に対してのPRやアプローチ、市の積極的な考え方を伝えるような方法を検討したほうが良いのでは。
⇒（会長より）保育所については数が十分にあり、むしろそこで働く保育士が不足しているというのが現状だと思っている。事業者の拡大とか呼び込みというのは考えておらず、市の計画の視点ではないのではないかとと思っている。

- ・小樽市として保育所の数が足りているということであれば、そのことを「市の考え方」に入れて回答する必要はないのか？

⇒（会長より）あえて書かなくても良いことだと思う。

委員からも事務局案を修正するような意見はなかったため、原案どおり進めることとした。

(3) その他

- 事務局より

今後の日程について説明。

- 委員からの意見等

特になし

以上